様式第１号（第８条、第９条関係）

事業者行動計画書~~（変更計画書）~~

2021 年　　7 月　　31 日

（宛先）
滋賀県知事殿

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
大阪市北区梅田2丁目4番９号　ブリーゼタワー

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
バイエル薬品株式会社
代表取締役社長　ハイケ・プリンツ

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例〔第20条第３項・~~第20条第４項~~ ~~第22条第１項・第22条第２項において準用する同条例第20条第４項~~〕の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	バイエル薬品株式会社　代表取締役社長　カーステン・ブルン
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	大阪市北区梅田2丁目4番９号　ブリーゼタワー

1　事業所の概要

事業所の名称	バイエル薬品株式会社　滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野 121-1					
主たる事業	細分類番号	1	6	5	2	医薬品製剤製造業
該当する事業者の要件	☑　原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	□□　従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	□　任意提出事業者					

2　計画の内容

計画の内容	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とします。

標準様式第１号

（第１面）

1　計画期間

計画期間	2021（令和３年）年度～　2026（令和８年）年度

2　低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

「よりよい暮らし」を地球レベルの視点から

バイエル薬品はバイエルグループ共通の基本理念に基づき、環境保全活動を展開しています。　この理念のもと、バイエル薬品滋賀工場でも、温室効果ガスの削減や廃棄物の削減を積極的に推進しています。

CO2 の削減

バイエル薬品滋賀工場では、2006 年～2015 年に 2005 年比で約 28%の CO2 削減を実施するなど温室効果ガス削減に継続的に取り組んでいます。

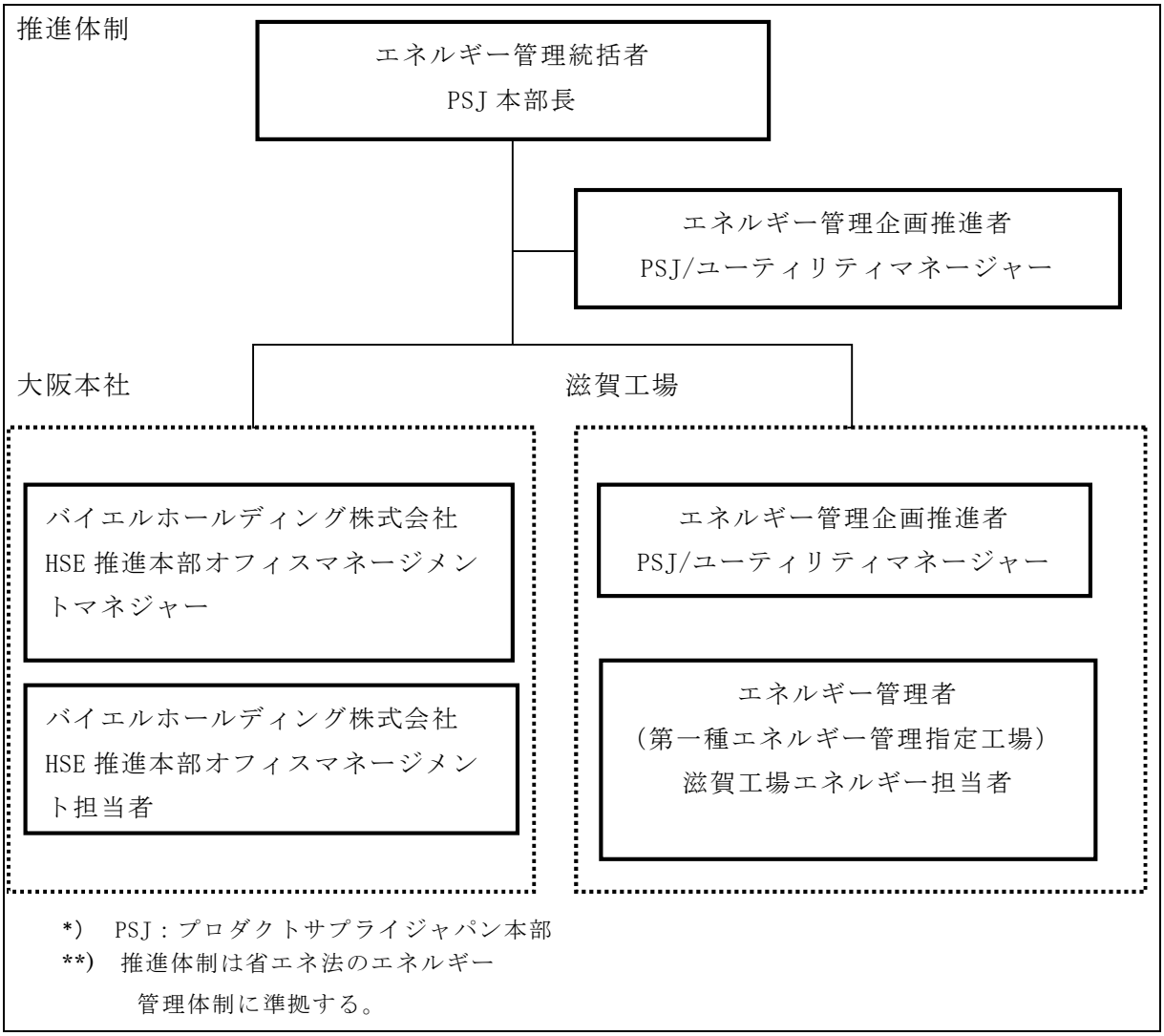
電力の削減

2011 年より LNG に燃料転換しています。また、高効率の空調機を導入し工場照明を省エネ性に優れた LED 照明に順次変更。こうした取り組みの結果、大きな節電効果を発揮することが可能となりました。

廃棄物の削減

もう一つの重要な環境活動は、廃棄物の削減。　４R をスローガンとして掲げ、廃棄物そのものを削減する以外にも、再使用・再資源化率を高めて最終廃棄物処分量を減らすなどの取り組みをすすめています。水質・大気・騒音に対しても、法定基準より厳しい自主基準を設け、徹底した環境保全に努めています。

3　低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考　組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

４　これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

バイエル薬品滋賀工場では、これまでから省エネルギーや CO2 排出量削減に向け努力しています。
特に 2006 年より 2015 年までは「滋賀工場 CO2 削減プロジェクト」として、高効率機器の導入や燃料転換など積極的な取り組みを行い、　環境省主催の二酸化炭素排出抑制対策事業にも過去、２回採択され、効果的な CO2 排出量削減を実施し 2005 年比で 28％の削減を達成し､今後も省エネ機器の導入や小集団活動による運用改善を継続的に続け CO2 削減に努力します。

- 高効率ターボ冷凍機の導入
- ターボ冷凍機の運用方法見直しと台数制御装置の調整運用改善
- 屋外照明の一部を太陽光パネルに変更
- 高効率モジュールチラーの導入（JVETS 第 4 期採択）
- LNG サテライトの設置
- A 重油ボイラー3 台をボイラー効率 98％のガスボイラーに燃料転換（JVETS 第 6 期採択）
- コンプレッサー7 台の更新（内 1 台はインバーター機を導入）と台数制御装置の更新。
- 冷凍機、冷水ポンプの台数制御装置更新
- 倉庫、一般エリアの空調を温度のよる間欠運転に変更
- ボイラーブロー排水からの熱回収装置の更新
- 蒸気駆動式コンプレッサーの導入
- 既存、消火水槽を利用した蓄熱システムの導入
- 蛍光灯から LED 照明への更新
- 24 時間空調エリアの一部、夜間・休日の風量削減運用改善
- ファンコイルユニットから個別エアコンへの更新
- 蒸気圧力の見直し

5　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対　策	照明の消費電力の高い蛍光灯から、LED の蛍光灯に取替え消費電力の削減をする。	2021 年～2026 年
2	運用対策	ターボ冷凍機冷却水ポンプの INV 有効活用	2021 年
3	設備導入対　策	渡り廊下、会議室の空調をファンコイルユニットからエアコンに更新	2021 年～2026 年
4	設備導入対　策	吸収式冷凍機をターボ冷凍機に更新	2022 年
5	設備導入対　策	老朽化した生産室の空調機や制御方法も最新のものを採用し、空調機の省エネを図る。	2022 年～2026 年
6	運用対策	CO2 換算係数の低い電力の購入	2021 年～2026 年
7	設備導入対　策	C2 棟、C4 棟エネルギー管理用冷水流量計、温度センサー、蒸気流量計の取付	2022 年～2023 年
8			

(2) エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

バイエル薬品滋賀工場では、(1)の設備導入対策や小集団活動による運用対策、更に、CO2 換算係数の低い電力の導入などの取組等により 2020（令和 2 年）年度を基準に 2025（令和 7 年）年度までの 5 年間で 5%の CO2 削減をめざします。

７　その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により 達成しようとする目標	実施スケジュール
1	４Ｒの推進	4R（Refuse、Reduce、Reuse、Recycle）を推進し、廃棄物の処理方法の見直し、質の高いリサイクル等へと改善を検討	平成 28 年度～平成 32 年度
2	環境教育	定期的な滋賀工場エネルギー戦略会議の開催	平成 28 年度～平成32年度
3	環境教育	小集団活動によるCO2削減、省エネの検討および運用改善	平成 28 年度～平成32年度
4			
5			
6			
7			
8			